

令和元年度 社会福祉法人あぶくま福祉会

本部事業報告

1. 概要

令和元年度は法人の運営において、各拠点区分を中心とした事業に力を注ぎながらも法人全体を意識し、今後予想される多様な変化に対応するべく、各施設を超えた協力体制を組みながら、今後の法人経営全体の安定に繋がるよう省力化、効率化を進めてきた。

具体的に、社会福祉充実残額の執行にあっては、当初生活介護施設建設として計画したが、各施設の環境整備と両施設利用者全体のサービス拡大を目指し、駐車場の整備とハウス集約に変更した。その用地取得に向け地権者から買収の承諾を得たため、県に開発許可を申請し、今年3月末許可になった。今後、市農業委員会に農地転用等を申請し、許可になれば速やかに買収に入り事業を進めて行く予定である。

また、令和元年11月に法人創立30周年記念式典を挙行了。統括施設長を中心に両施設職員の代表で実行委員会を組織し、利用者とその保護者をはじめ関係者の協力のもと、記念誌を作成し今までの歩みを振り返るとともに、法人のシンボルマークと歌を制定し、式典で発表した。

サービスの提供にあたっては、地域に根差した福祉の担い手としての自覚のもと、利用者個々の特性に合った支援活動を展開し質的向上に努めてきた。公益的事業にも力を入れ、地元町内会に協力して清掃活動などを行い、地域へ貢献した。

2. 基本理念

障がい者の特性を理解し利用者の人格を尊重して社会生活への適応や自立を支援し、生活の質を高めるためのサービスの提供と地域社会で豊かな日常生活が営めるよう援助して地域福祉の推進に努めた。

3. 事業

第2種社会福祉事業

生活介護事業所 だての郷の運営

就労継続支援B型事業所 ほどはら授産所の運営

共同生活援助事業所 グループホームスクラムの運営

4. 役員等

	評議員	理事	監事
定数	12人	10人以内	2人以上
現員	11人	8人	3人

5. 主な会議・事業

評議員会

- 開催日 令和元年6月25日（火）
- 報告 ・平成30年度社会福祉充実残額執行結果について
- 議事 ・平成30年度事業報告について
・平成30年度決算報告について
・令和元年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について
・理事、監事の選任について
- 開催日 令和元年11月6日（水）
- 報告 ・一般業務の事業経過について
・社会福祉充実残額執行状況について
・創立30周年記念事業について
- 議事 ・社会福祉充実計画の変更について
・令和元年度補正予算（案）について
- 開催日 令和2年3月25日（水）＜書面決議＞
- 報告 ・社会福祉充実残額執行状況について
・社会福祉充実残額今後の執行予定について
- 議事 ・令和元年度補正予算（案）について
・令和2年度事業計画（案）について
・令和2年度予算（案）について
- ※決議があったものとみなされる日 令和2年3月26日

理事会

- 開催日 令和元年6月5日（水）
- 報告 ・平成30年度社会福祉充実残額執行結果について
- 議事 ・平成30年度事業報告について
・平成30年度決算報告について
・令和元年度社会福祉充実残額及び社会福祉充実計画について
・理事、監事の推薦について
- その他 ・令和元年第3回評議員会（定時評議員会）の開催について
- 開催日 令和元年6月27日（木）
- 議事 ・理事長の選定について
・業務執行理事の選定について
・評議員の選任・解任委員の選任について

- 開催日 令和元年10月29日（火）
- 報告 ・ 一般業務の事業経過について
・ 社会福祉充実残額執行状況について
・ 創立30周年記念事業について
- 議事 ・ 社会福祉充実計画の変更について
・ 令和元年度補正予算（案）について
- その他 ・ 令和元年第4回評議員会の開催について

- 開催日 令和元年12月5日（木）
- 議事 ・ 評議員の推薦（案）について

- 開催日 令和2年3月17日（火）
- 報告 ・ 社会福祉充実残額執行状況について
・ 社会福祉充実残額今後の執行予定について
- 議事 ・ 賃金支弁職員管理規則の一部改正について
・ 令和元年度補正予算（案）について
・ 令和2年度事業計画（案）について
・ 令和2年度予算（案）について
- その他 ・ 令和2年第1回評議員会の開催について

評議員の選任・解任委員会

- 開催日 令和元年12月12日（木）
- 議事 ・ 評議員選任の提案について

苦情解決委員会

- 開催日 令和2年2月20日（木）
- 報告 ・ 令和元年度事故等の発生件数及び内容について

社会福祉法人あぶくま福祉会創立30周年記念事業

- ・ 社会福祉法人あぶくま福祉会創立30周年記念式典・祝賀会の開催
開催日 令和元年11月22日（金）
場 所 伊達市保原町セレビアスカイパレス 出席者145名
- ・ 創立30周年記念誌発行 「社会福祉法人あぶくま福祉会のあゆみ」
- ・ 社会福祉法人あぶくま福祉会シンボルマーク制定
- ・ 社会福祉法人あぶくま福祉会の歌制定
- ・ 創立30周年記念イベント「あぶくま祭」開催
令和元年10月27日（日）法人敷地内

6、施設経営の重点項目

利用者を主体として、利用者と職員が対等の人間関係を保ち、利用者のための支援者としての自覚を持ち、倫理綱領を遵守して利用者の人権を重んじ、個々の特性を尊重したサービスの質的向上に努め、福祉施策の趣旨を踏まえた事業の展開を図った。

また、昨今は新型コロナウイルスによる感染症予防のため、毎日の検温、うがい、手洗い、消毒、マスクの着用、必要以外の外出自粛等、職員はもちろん、利用者、保護者も含めて注意喚起をしてきた。

(1) 支援体制の充実

支援体制の充実を目指し、個別支援計画の充実を図るとともに、利用者主体のサービスの質的向上を目指した。また、土曜利用日として月1回の営業を実施し、利用者及び保護者の要望に応えるとともに利便性の充実を図った。

また、法人内に設置している人権擁護委員会、送迎バス運行委員会を開催し、人権侵害や虐待、バス運行中の事故を絶対に発生しないよう、職員をはじめ関係者全員に注意喚起し、利用者の意思を尊重した支援体制の充実を図った。

(2) 職員研修体制の充実

制度改正や働き方改革が進む中でサービスの質的向上を目指し、職員の意識改革を図るとともに資格取得を目指すことや専門的研修参加を促進し、職員の資質の向上に努めた。

(3) 社会福祉充実残額執行計画の実施

平成29年度から始まった社会福祉充実残額執行について、令和元年度分は概ね計画どおり執行することができた。